

「家の周辺等でツキノワグマに出会わないようにするためのポイント」

まとめ

【ご講演内容】

1. クマの食べ物を知る！
2. クマの行動を知る！
3. 質疑応答
4. まとめ

1. クマの食べ物を知る！

○山では？

春：タケノコ、ウドなどの山菜、ホウノキ、水芭蕉、ブナの新芽 など

夏：野イチゴ、アリ、サクラ など

→夏は山に食べ物が少ないから、人里に探しに来る

秋：クリ、ドングリ、ブナの実 など

冬：冬眠中…

○人里では？

春：タケノコ

夏：トウモロコシ、スイカ、ハチ

秋：クリ、イネ、リンゴ

冬：人里ではおいしいものがいつでも食べられる！

※ドックフードや家畜の飼料、倉庫の米ぬかやハチの巣を採りに来ることも…

こういったものの管理には十分気を付けなければならない。

また、「管理に気を付けましょう」といったアナウンスなんかも必要に応じてすると良い。

○ちなみに柳津町(奥会津)では…？

・夏のスイカは食べない！

・秋はカキ、カボチャもよく食べる

2. クマの行動を知る！

○クマは夜行性じゃない！

クマはカラダが黒くて明るいと見つかりやすいので、

人里では、見つかりにくい朝方や夜の暗い時間に行動する。山中では日中も。

○クマがよく使う場所

① 暗いところ

② やぶの中

③ 段差の下側

→上記の場所にはいつクマがいてもおかしくない！

そんなクマがいそうな場所に行くときには…

人がいることを知らせよう！！

3. 質疑応答

Q.農道や林道などの道路の真ん中に糞をする理由は？(道路の隅とかではなく)

A.クマが歩きやすいところを歩く過程で催して糞をしていく。

あまり、決まったところにするような習性はない。

Q.クマの寿命は？

A.山の中、外、飼育下などの環境によって全然変わる。

さらに、狩猟で捕獲をしたりするとそれは寿命とは言えないから、一言に平均いくつとは言えない。

でも、歯から年輪を読み取ってみると、自然に生きていたものでも10年越えるようなものもたくさんいる。

Q.紅葉の時期に観光目的のライトアップをしたいのだが、

夜でもライトアップで明るくしていたらクマは寄りにくいのか。

また、クマが好まない灯りの色はあるのか。

A.色や光、匂いには数日もあれば慣れてしまう。

初日や2日目くらいなら寄りにくくなるかもしれないが、それ以降は安全面から考えるとあまりおすすめできない。

→他にも例えば、農作物の被害対策としては「明かりだけ」は効果がないが、人身事故を予防するという観点では、明るい人側がクマを発見しやすくなるので、玄関先などにセンサーライトを設置するのは安全面でもオススメ。
光ったら、何かいる可能性がある、人側が備えることができる。
農地に設置するのか、玄関先などに設置するのかなど目的によって効果は異なる。

4. まとめ

～クマに出会わないためのポイント～

○人家周辺では…

・餌を食べさせない！

→ちょっとしたゴミ、人の食べ物のカス、家の倉庫の米ぬか…

人の食べ物はなんでも食べてしまう！

何気ない気持ちでゴミは捨てない、クマの食べそうなものの管理に気を付ける。

・クマのいそうな場所には近づかない！

→クマの食べ物(項目1参照)があるところ、やぶの中(項目2参照)など…

○山では…

・自分の存在をクマに知らせる！

→クマ鈴・ラジオ等を鳴らす(常に警戒していきたい方)

・手を叩く・人と話す(山に入ることに慣れていてクマ側の音を気にしたい方)

※もしもすぐ横のやぶの中に隠れてやり過ごそうとしているようなクマがいたら、急な大きな音に驚いて襲ってくる可能性もあるので、時と場所に注意しながら。

・新しいクマの痕跡があったら、引き返す！

→クマの糞は、仕立てだと、食べたものの色や匂いがそのまま表面にも出やすい。

例) ドングリを食べた直後の糞→白い。

柿を食べた直後の糞→少しべちゃっとしていて、柿の匂いまですること。

こういったことを分かっていると、即座に避難ができる！

～それでも出会ってしまったら…～

1. クマと自分の導線の上に障害物を挟むように少しずつ移動する
2. 障害物を挟みながら、クマとの距離を少しずつ広げるように後ずさりする
3. クマがこれで逃げてくれたら、もう、安心

最後、もしも飛びかかってきたら…

急所である頭や首を守って、うつぶせになって致命傷を避けましょう。

“自分一人でいつでもできること” “知っておくことでできること”が沢山あります。
普段から気にして対策に取り組んでみてください！